

**令和5年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「モツェディ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」 契約署名式の実施**

在ボツワナ日本国大使館

令和5年11月9日

令和5年11月8日、令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「モツェディ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」の契約署名式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、被供与団体「モツェディ・コミュニティ中学校」レセホ校長及び来賓その他関係者出席の下、ハボローネ市にて行われました。式典の中で、大森大使及び被供与団体代表のレセホ校長は、供与額を77,130米ドルとする契約書に署名しました。

本計画は、ハボローネ市のレドウマン地区モツェディ・コミュニティ中学校の敷地内に、特別支援教室、保健室、調理室、障害者用トイレ、職員室で構成される特別支援学級棟を新たに建設することにより、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業を行い、インクルーシブ教育の質の向上に寄与することを目的としています。

契約署名式において、大森大使は、「モツェディ・コミュニティ中学校は、2020年に日本政府が同草の根無償資金協カスキームを通じて、特別教育ユニットを寄贈したレドウマン小学校の卒業生全員を受け入れている。新計画により、同地域は教育を必要とする人々に継続的な教育の機会を提供できるようになり、生徒だけでなく地域社会にとっても有益である」旨述べました。



(写真) 大森大使とレセホ校長



(写真) 来賓客